

とるストーン

EGA 20A・30A

取扱説明書



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
- この取扱説明書を、機械の操作および保守・点検を行う場合に、いつでも調べられるよう機械の近くに大切に保管してください。

重要なお知らせ

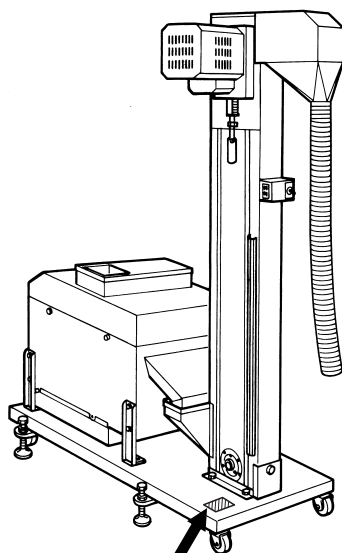


- この機械の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したとしても、株式会社サタケおよびＪＡ・販売店は一切その責任を負いません。

1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。そのため、この取扱説明書の記載事項や機械に標示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。従って、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げのＪＡ・販売店または、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
3. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取替えいたします。お手数ですが、お買い上げのＪＡまたは販売店までご連絡ください。なおその際は機械名称も合わせてご連絡ください。



機械名称貼付位置

保証の限定

製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常なご使用状態において故障した場合には、お買い上げ日より1年間無料で修理いたします。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げのJ Aまたは販売店に修理をご依頼ください。なお、保証書のご提示なき場合、または無料修理期間を過ぎた場合は、有料修理となります。
2. 無料修理期間中でも、次の場合は有料修理になります。
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、風水害、地震、雷その他天災地変、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げのJ A・販売店またはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
3. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。
5. 補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

もくじ

	ページ
重要なお知らせ	i
保証の限定	ii
ご使用のまえに	
安全について	1
各部のなまえ	5
操作箇所	6
組立・据付	
機械の組立	7
機械の移動と据付	11
運転のしかた	
稼働期前の確認と作業	13
運転前の確認と作業	14
運転操作	16
運転の終了方法	18
お手入れと保管	
各部の掃除	19
ネズミ侵入防止対策	20
保管	21
困ったとき	
困ったときの対処のしかた	22
その他	
オプション部品	24
消耗部品	25
仕様	26
機体寸法	27
保証とアフターサービス	28
緊急時の連絡先	巻末

ご使用のまえに

組立・据付

運転のしかた

お手入れと保管

困ったとき

その他

安全について



- この機械の操作および保守・点検を行う場合は、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従ってください。

もし、疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げのＪＡ・販売店またはページ巻末「緊急時の連絡先」に問い合わせ、回答を得るまで、作業を進めてはいけません。

1. 安全標示の種類と意味

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の標示で区分して説明しています。標示と意味は次のとおりです。

以下の安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
	この標示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この標示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

2. 安全に作業を行うための注意事項

安全運転に作業を行うための注意事項を示します。

- (1) この取扱説明書およびピックアップの取扱説明書をよく読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
- (2) 作業を開始する前に、機械の操作をする運転管理者を決めてください。
- (3) 長い髪は束ね、作業に適した服装および靴で作業してください。
- (4) 作業場に、作業に関係ない人は入れないように注意してください。特に子供を遊ばせないように注意してください。
- (5) 機械の据付場所は、水平でしっかりとした明るく広い場所にしてください。水平でないと機械の振動発生の原因になります。
- (6) 感電事故防止のため、必ずアース線を接地してください。
- (7) 漏電事故防止のために主電源に漏電ブレーカを設置してください。
設置については、電気工事会社に依頼してください。
- (8) フレキホースなどのダクト類の固定は確実にを行い、振動などで外れないようにしてください。
- (9) 機械の周囲は整理整頓をしてください。
- (10) 運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。2人以上で作業するときは、互いに合図をかわし作業を行ってください。
- (11) 機械の上に工具などの物を置いて機械を作動させないでください。
- (12) 元電源を入れた後は、電源ボックス内部などの通電部分には、絶対に触れないでください。
- (13) 安全カバー類はすべて取付けて運転してください。また、運転中は安全カバー類を取外さないでください。
- (14) 運転中は、機械の可動部に触れないでください。
- (15) 運転中は、特に指示する箇所以外は機械の点検および調整を行わないでください。
もし、機械の点検および調整の必要がある場合は、主電源を切り、機械が完全に停止している状態で行ってください。
- (16) 各部の掃除、点検や異常・故障時処理をする場合は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- (17) 運転中に停電した場合は、電源プラグを抜いてください。
- (18) 落雷の恐れがあるときは、機械保護のため運転を中止し、電源プラグを抜いてください。
- (19) 疲労を感じたら無理に作業を続けず、休憩をしてください。
- (20) この機械はモータの焼損保護装置を内蔵していませんので、運転中に機械が詰まった場合は直ちに元電源を切ってください。
- (21) 機械には水をかけないでください。水がかかると電源回路がショートし、装置の損傷につながります。

3. 標示ラベルについて

この機械には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼付けてあります。これらの正確な位置および危険の内容について、十分に時間をかけて、危険防止の内容を理解してください。

(1) 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図 1 および図 2 を参照してください。

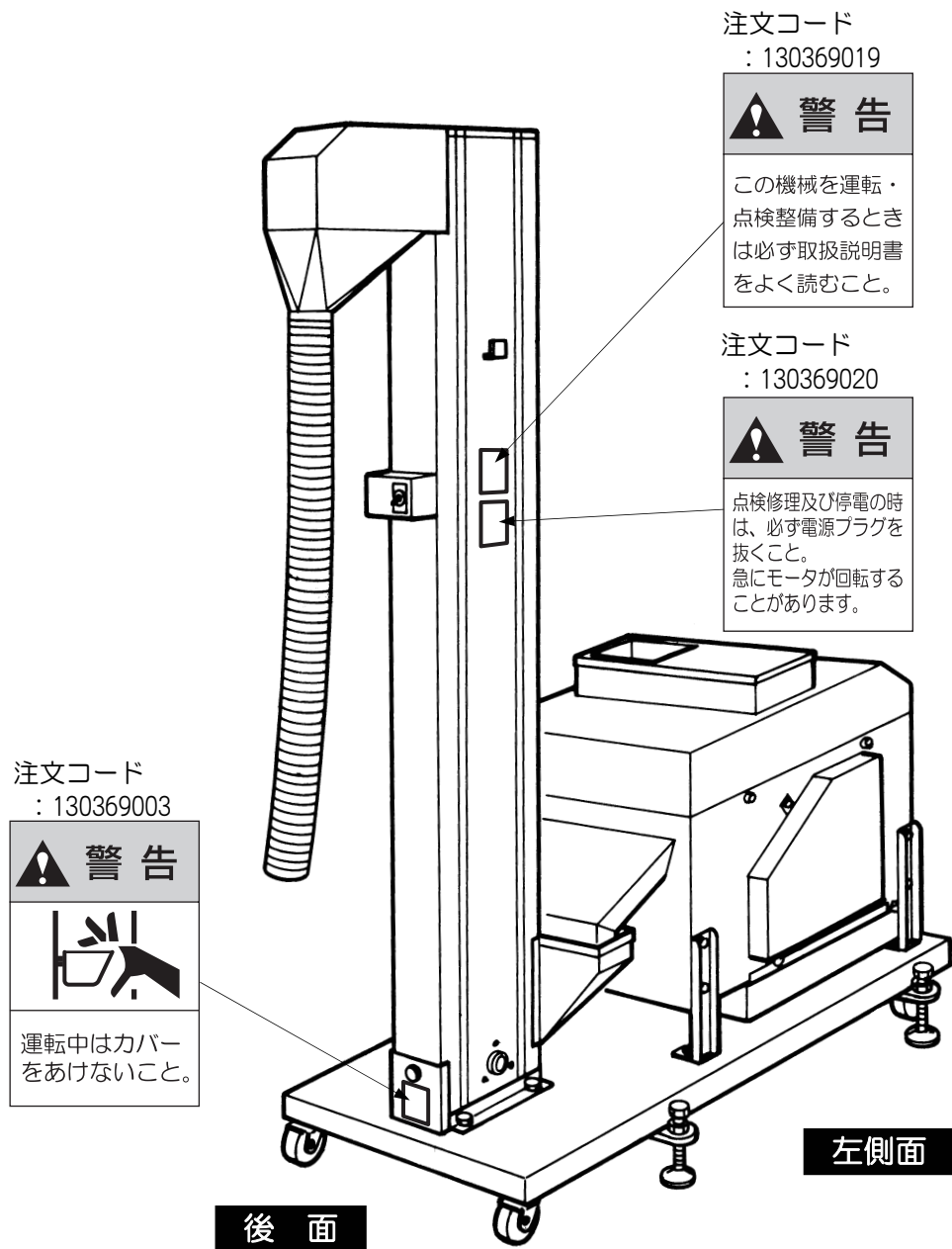


図 1 標示ラベル貼付位置 (1)

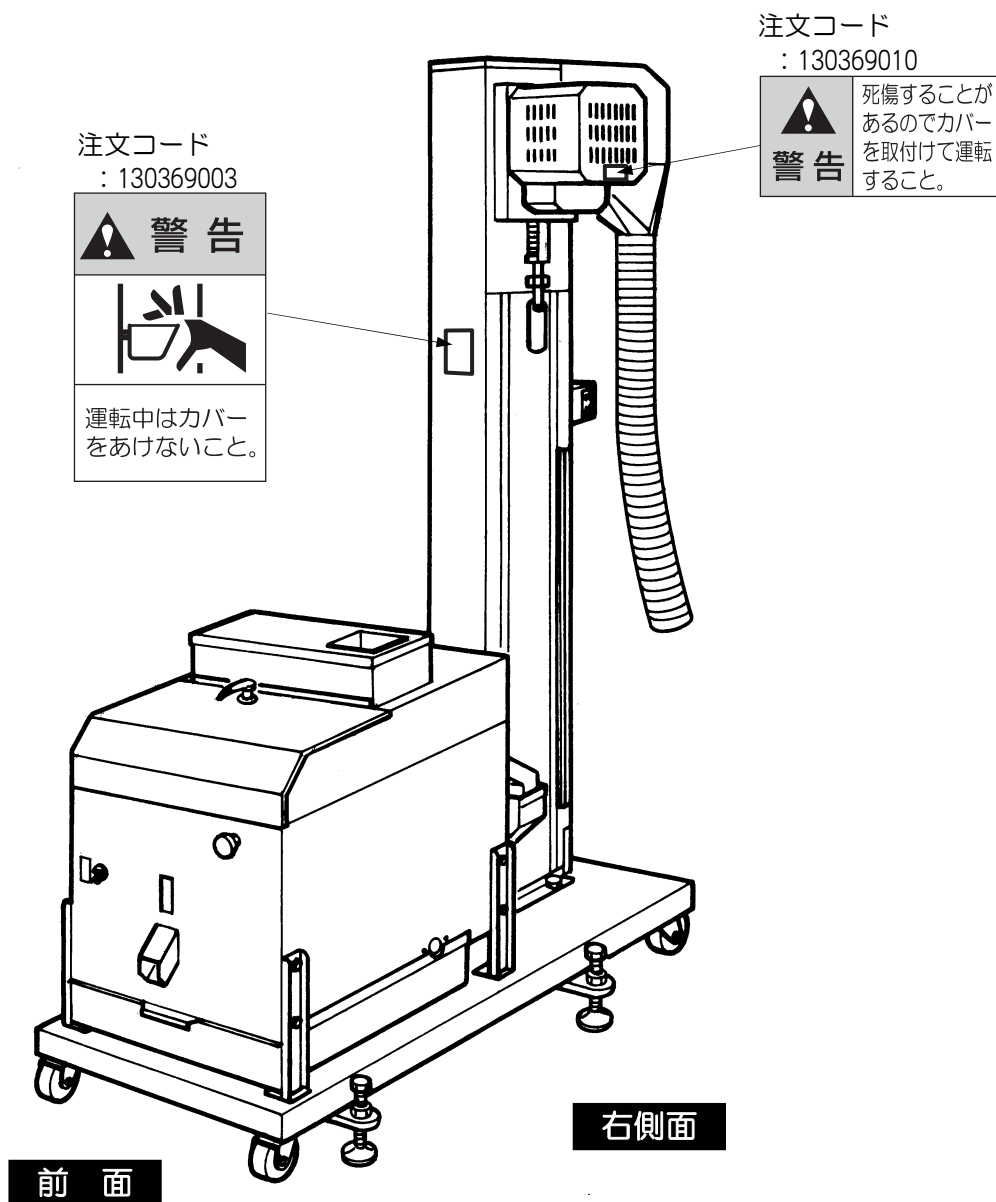


図 2 標示ラベル貼付位置 (2)

(2) 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。文字やイラストが見えない場合、ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、ラベルの交換の必要があります。
お買い上げのJAまたは販売店にお問い合わせください。問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえ

1. 機械の構成

機械の構成を次に示します。

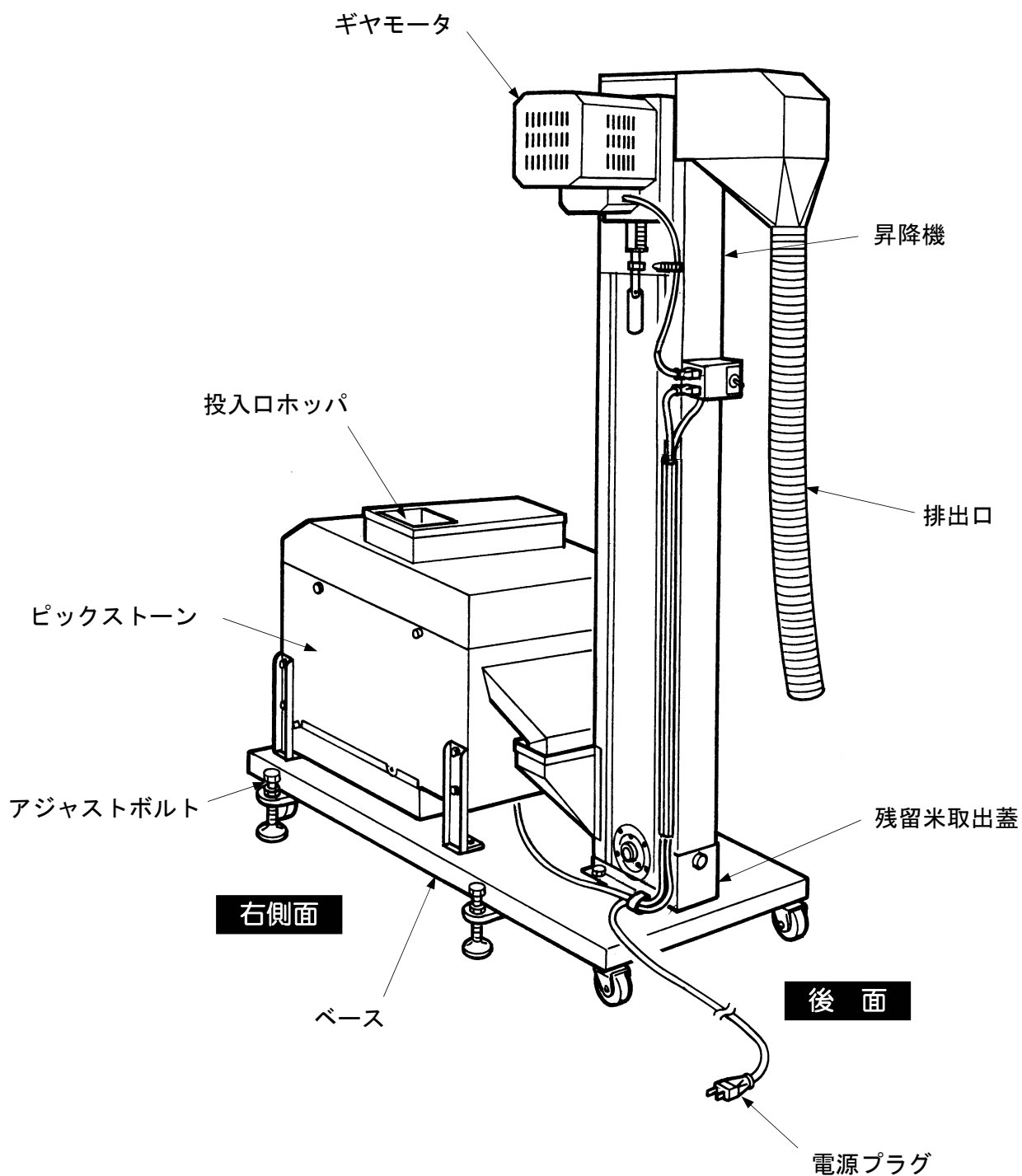


図 3 機械全体図

操作箇所の説明

機械の操作箇所・調整箇所について説明します。

ご使用のまえに

注意

- 本書およびピクストーン取扱説明書をよく読み、理解するまでは機械を作動させないでください。
- 操作についてはページ16「運転操作」およびピクストーン取扱説明書ページ4「V 運転」を参照してください。

テンションハンドル

バケットベルトの張りを調整します。

電源スイッチ

ピクストーンおよび昇降機のモータの起動・停止をするスイッチです。

右前面

後面

図 4 機械操作箇所

スイッチ

ピクストーンのモータの自動・手動・停止を切換えるスイッチです。

石排出用ノブ

スクリーン上に溜まった石を機外に排出します。

前面

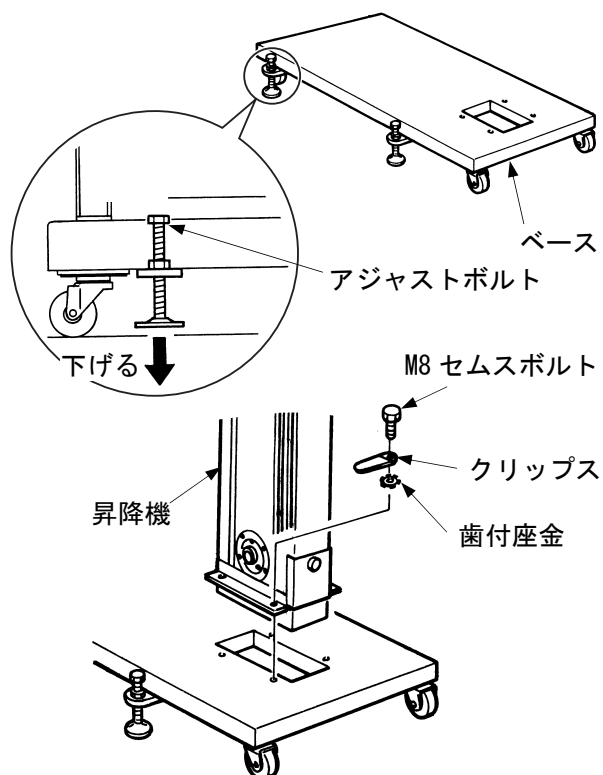
右側面

図 5 機械操作箇所

機械の組立

1. 昇降機の組付け

昇降機の組付け方法を示します。



1) アジャストボルト (M12) を下げます。

- ベースの4隅にあるアジャストボルトを均等に下げて、ベースが動かないように固定します。
- ベースのガタつきがないように、アジャストボルトを調整してください。

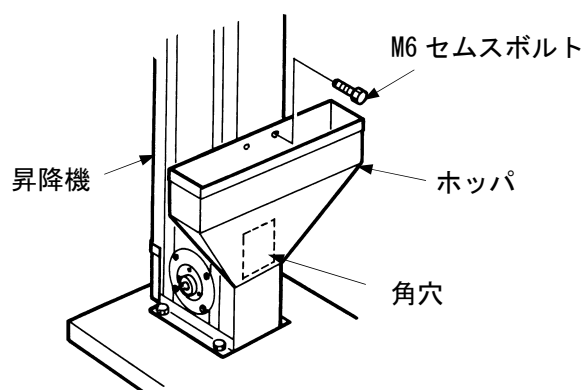
2) 昇降機をベースに載せます。

3) 昇降機をベースに M8 セムスボルト 4 本で固定します。

- 固定する際に、図の位置にクリップス (1 ケ) と角付座金 (1 枚) を組付けます。

2. ホッパの組付け

ホッパの組付け方法を示します。

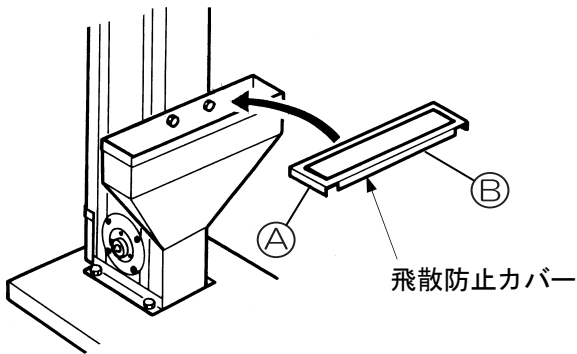


1) ホッパを昇降機下部の角穴に差し込みます。

2) ホッパを昇降機に M6 セムスボルト 2 本で固定します。

3. 飛散防止カバーの組付け

飛散防止カバーの組付け方法を示します。

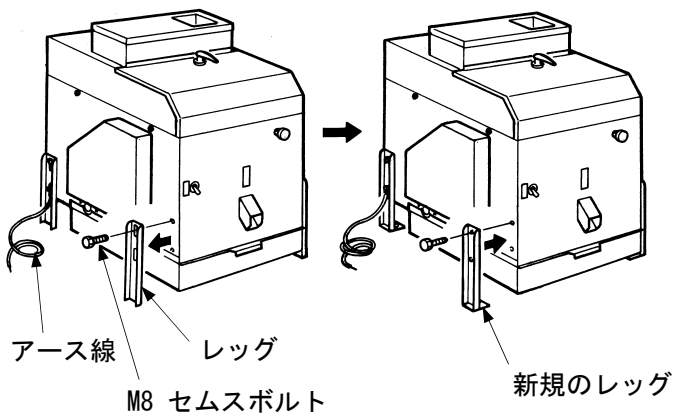


1) 飛散防止カバーをホッパの上に差し込みます。

- ①のフランジはホッパの外側に、②のフランジはホッパの内側になるように組付けます。

4. レッグの組替え

ピックアップのレッグの組替え方法を示します。



1) ピックストーンに組付けられているレッグを外します。

- (a) M8セムスボルト8本を外します。

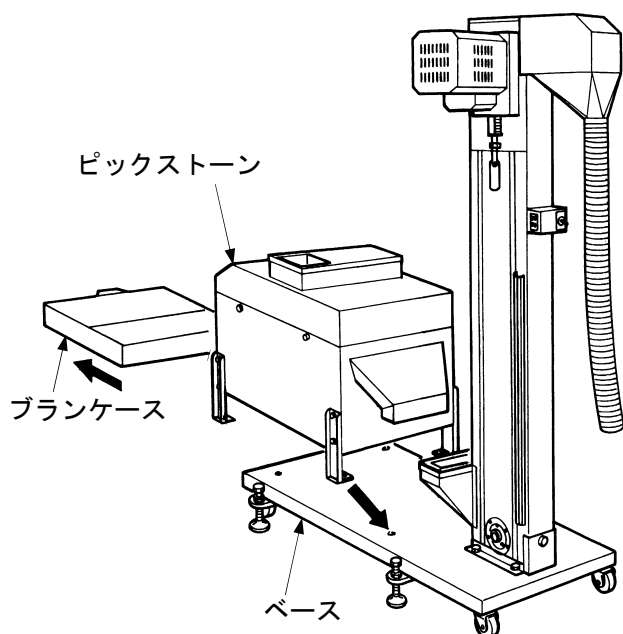
2) レッグを新規のレッグに組替えます。

- (a) M8セムスボルト8本で固定します。

- ピックストーンに組付けてあったアース線は元と同じ位置に組付けておきます。

5. ピックストーンの組付け

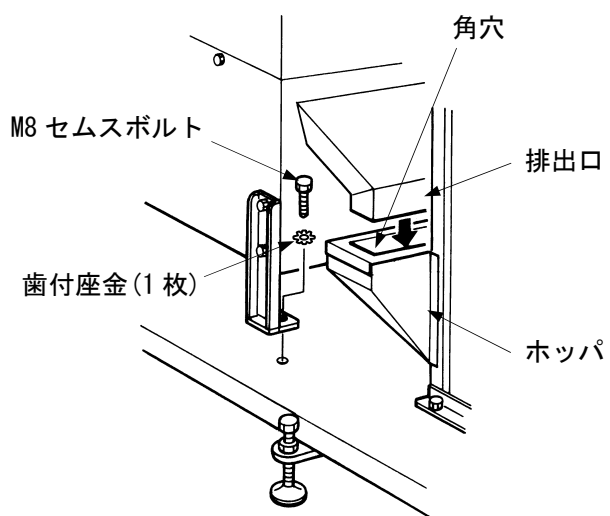
ピックストーンの組付け方法を示します。



1) ピックストーンからブランケースを外します。

2) ピックストーンをベースに載せます。

- ピックストーンの排出口を昇降機のホッパの角穴に差し込みます。



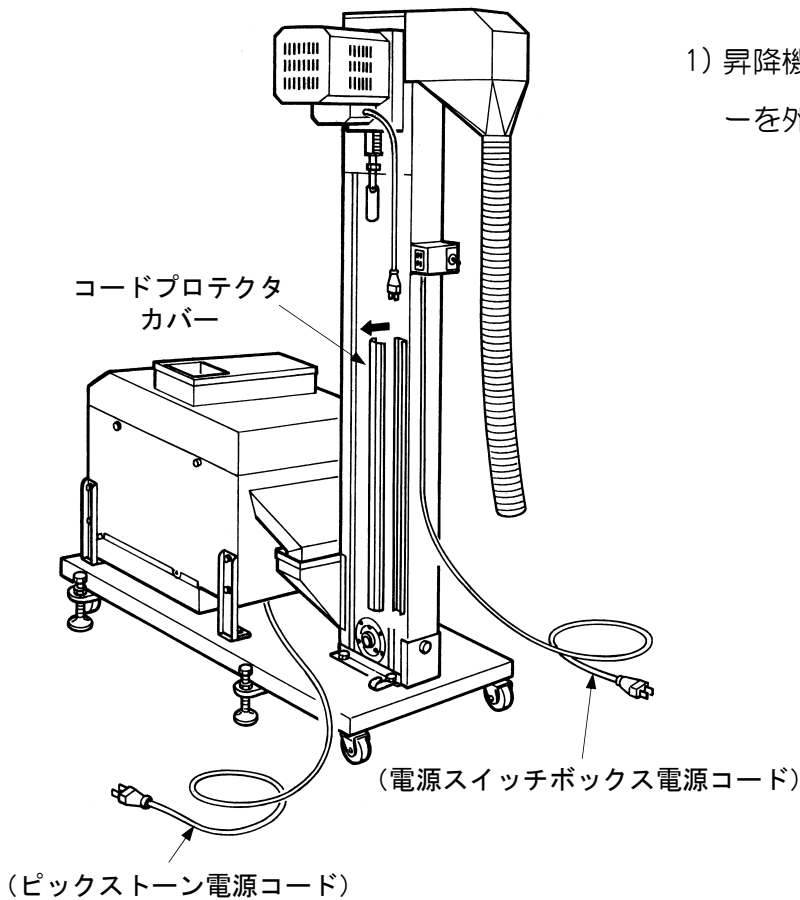
3) ピックストーンをベースに M8 セムスボルト 4 本で固定します。

- 歯付座金 1 枚を図の位置に取付けておきます。

4) ブランケースを元通りに取付けます。

6. 電源コードの固定

電源コードの固定方法を示します。



- 1) 昇降機に付いているコードプロテクタカバーを外します。

- 2) 昇降機電源プラグを電源スイッチボックスのコンセントの上段に差し込みます。

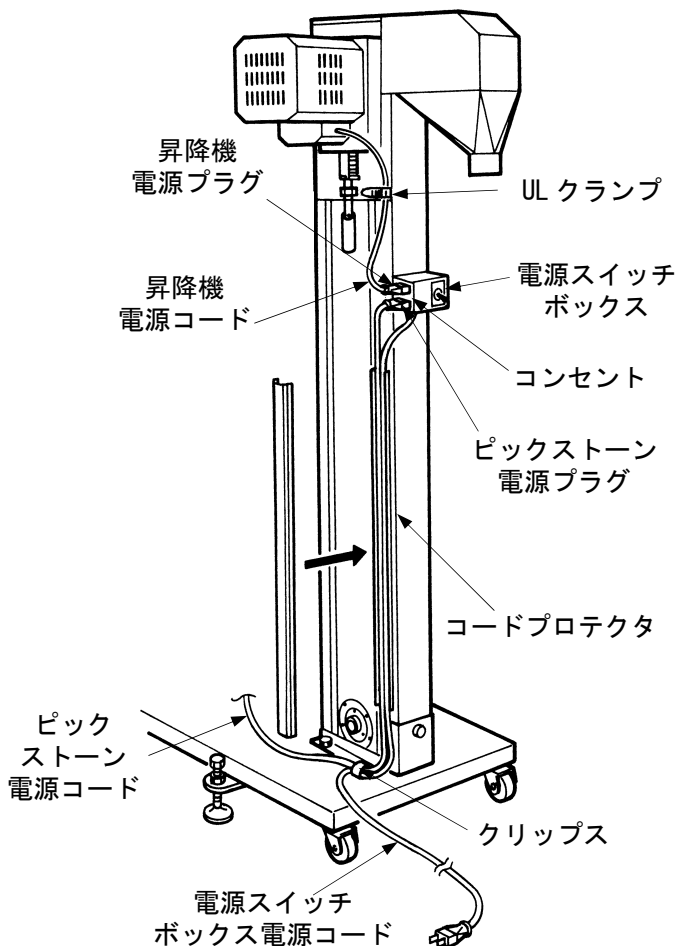
- プラグをコンセントに差し込んだら、UL クランプで昇降機電源コードを固定します。

- 3) ピクストーン電源プラグを電源スイッチボックスのコンセントの下段に差し込みます。

- 4) ピクストーン電源コードおよび電源スイッチボックス電源コードをコードプロテクタに通します。

- 5) ピクストーン電源コードおよび電源スイッチボックス電源コードを、昇降機下部のクリップで固定します。

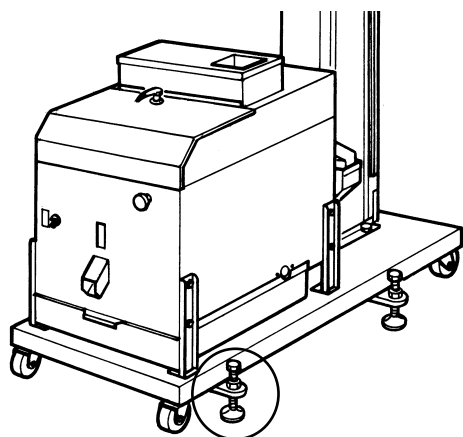
- 6) コードプロテクタカバーを取付けます。



機械の移動と据付

1. 機械の移動

機械の移動について示します。

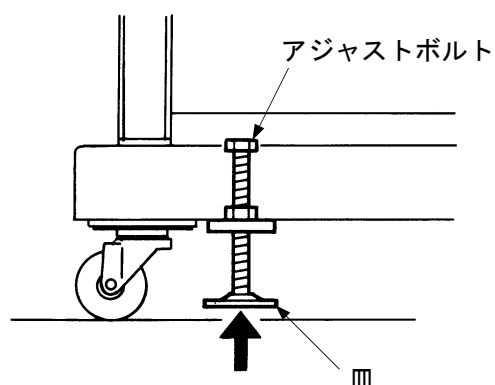


1) アジャストボルト（M12）を上げます。

- 移動中に、皿が地面に接触することのないよう十分に上げます。

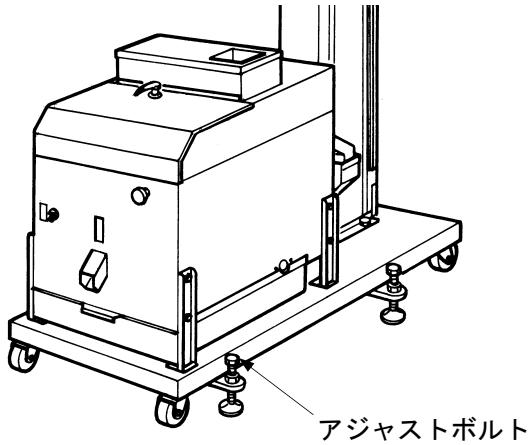
2) 本機を移動します。

- 本機を持って移動させます。



2. 機械の据付

機械の据付について示します。

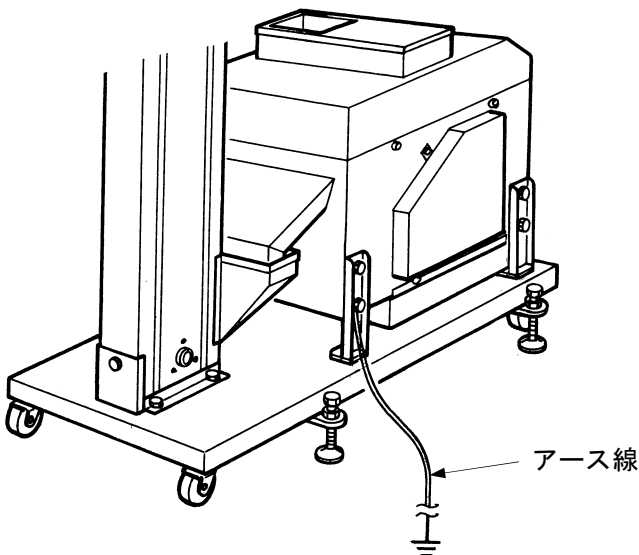


1) アジャストボルト (M12) を下げます。

- ベース 4 隅のアジャストボルトを下げてキャスタを浮かし、ベースが動かないように固定します。
- 本機が水平になるようにアジャストボルトを調整します。

2) 機械のガタつきがないか確認します。

- 機械の据付けは、平らでしっかりとした場所にしてください。
- 機械がガタついている場合は、アジャストボルトを再調整してください。



3) アース線を接地します。

- ピックストーンに取付けてあるアース線の先端を接地してください。

稼働期前の確認と作業

稼働期前には、次の確認と作業を行ってください。



- 確認と作業を行うときは、必ず「電源スイッチ」を「切」にして、電源プラグを抜いて行ってください。

1) 機械周辺の作業場所に、障害物がないことを確認してください。

また、作業場所は十分広く取ってください。

2) 機械にアース線が取付けられ、アース線の先端が確実に接地されていることを確認してください。

3) 消耗部品が摩耗・破損していないか確認してください。摩耗・破損している部品があれば交換してください。

(ページ25「消耗部品」を参照してください。)

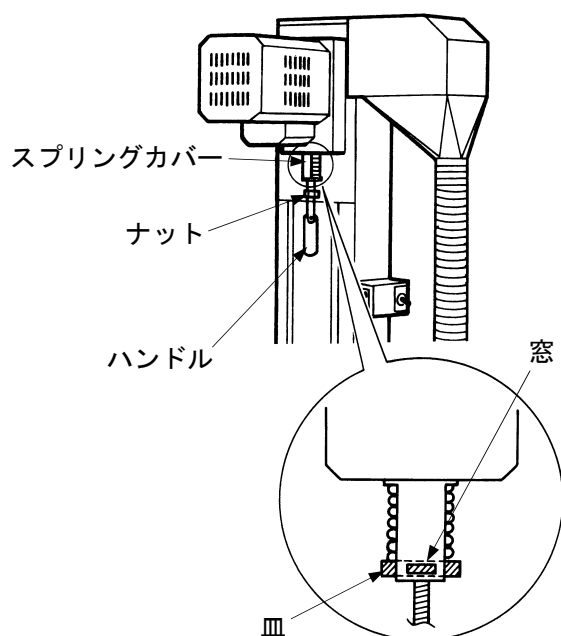
運転前の確認と作業

運転前には、次の確認と作業を行ってください。

1. バケットベルトの確認



- バケットベルトの確認を行うときは、必ず「電源スイッチ」を「切」にして、電源プラグを抜いて行ってください。



1) バケットベルトの張り具合を確認します。

- スプリングカバーの窓の位置に、緑色の皿があることを確認してください。
- 窓から皿の位置が外れている場合は、ナットを緩め、ハンドルを回して調整してください。調整後は、ナットを締めてください。

2) バケットおよびバケットベルトの状態を確認します。

(a) バケットが摩耗して底が浅くなっているか確認します。

- 異常のある場合は、新しい部品と交換してください。

(b) バケットベルトに亀裂やほころびがないか確認します。

- 異常のある場合は、新しい部品と交換してください。

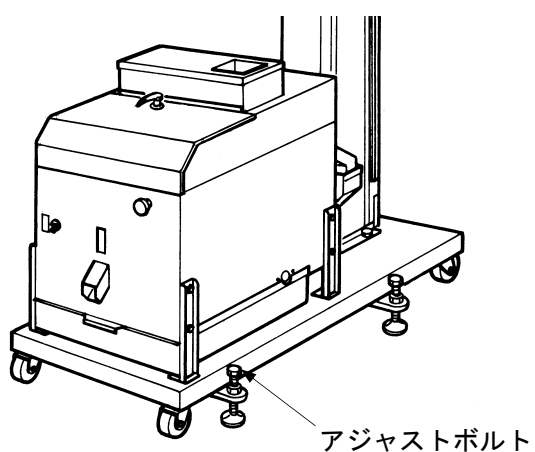
運転のしかた

2. ピックストーンの確認

1) ピックストーンの確認を行います。

ピックストーンの取扱説明書（ページ 6「VI. 保守点検」）を参照して行ってください

3. 機械のガタつきの確認



1) 機械のガタつきがないか確認します。

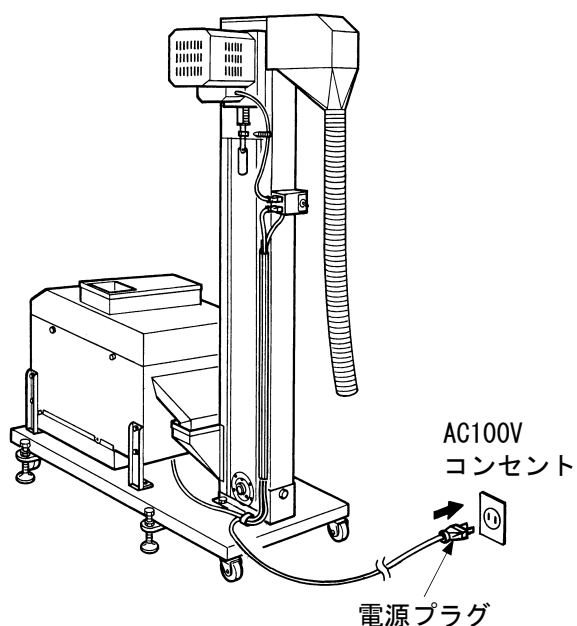
- 機械がガタついている場合は、アジャストボルトを調整してガタつきをなくします。

運転操作

運転操作を行う場合は、次の操作を行ってください。

警告

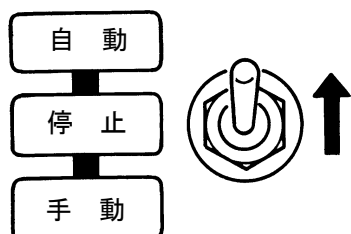
- 運転中は、安全カバー類を必ず取付けてください。
- 運転中に停電した場合は、必ず「電源スイッチ」を「切」にして、電源プラグを抜いてください。
- この機械は、モータの焼損保護装置を内蔵していません。
運転中に機械が詰まった場合は、直ちに「電源スイッチ」を「切」にしてください。（ページ19「2」）を参照して昇降機の残留米を取出してください）



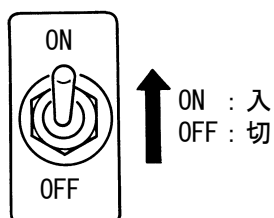
- 1) 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - AC100V コンセントに電源プラグを差し込んでください。

注意

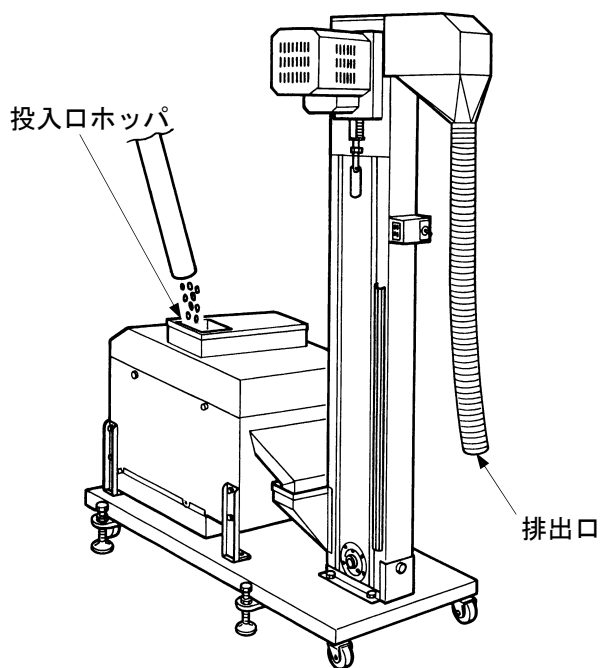
- 電源にコードリールを使用したり、タコ足配線をしないでください。



- 2) ピックストーンの「スイッチ」を「自動」にします。



- 3) 「電源スイッチ」を「入」にします。
 - 昇降機ギヤモータが回ります。
 - ピックストーンは、投入口ホッパに玄米が投入されるまでは作動しません。

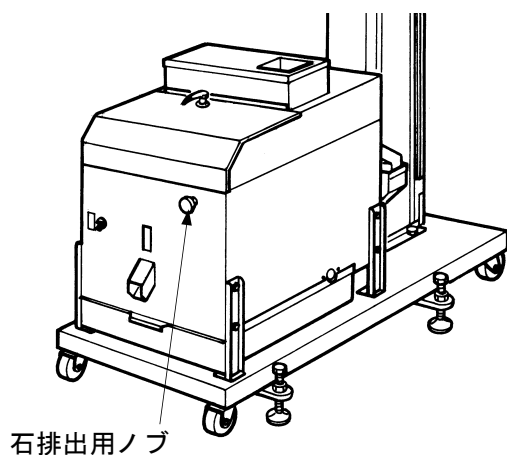


4) 投入口ホッパに玄米を投入します。

- 投入された玄米が、ピクストーンで石と玄米に選別されます。
- 選別された玄米は排出口から排出されます。
- 粳摺機等から排出される玄米を投入口ホッパに受ける場合は、玄米の粳散防止用にオプションの増し枠を用意しています。
(ページ24「オプション部品」を参照してください。)

警告

- この機械の処理能力は 30 俵/h (EGA30A)、20 俵/h (EGA20A) です。処理能力以上の玄米を投入口ホッパに投入しないでください。
- 排出口を粒選別機等に接続して使用する場合は、排出口の曲げ具合により、玄米の詰まりが発生することがあるので注意してください。



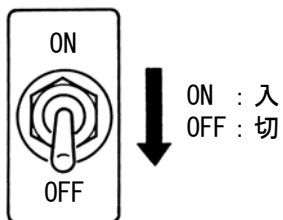
5) そのまましばらく運転します。

6) ピクストーンに選別された石が、溜まっていれば、排出します。

- 石排出用ノブを引き、石を排出します。
- 詳しくは、ピクストーンの取扱説明書 ページ 5「4.」を参照してください。

運転の終了方法

運転を終了するときは、次の操作を行ってください。



- 1) 投入口ホッパへの玄米の投入を止めます。
- 2) ピックストーンが停止するまで待ちます。
- 3) [電源スイッチ] を [切] にします。

警告

- ピックストーン内部のスクリーン上の玄米を取出す場合は、必ず、[電源スイッチ] を [切] にして、電源プラグを抜いてください。

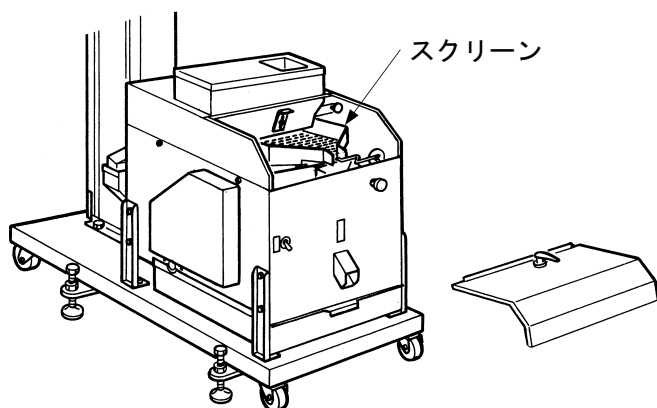
注意

- [電源スイッチ] は、必ずピックストーンが停止したのを確認してから [切] にしてください。ピックストーンが停止しないまま [電源スイッチ] を [切] にすると、次回の運転開始時に昇降機が詰まることがあります。
- ピックストーン内部のスクリーン上には、玄米が常に溜まっています。運転終了後、溜まっている玄米を取出したい場合はピックストーンの取扱説明書ページ 5「7.」を参照して取出してください。

各部の掃除

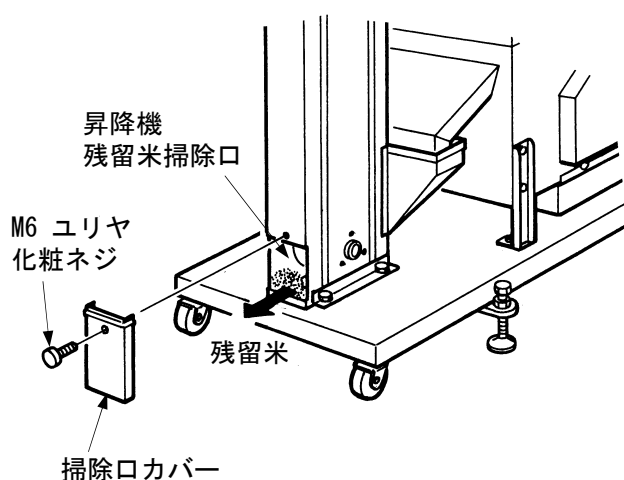


- 各部の掃除は、必ず「電源スイッチ」を「切」にして、電源プラグを抜いて行ってください。



1) ピックストーンのスクリン上の残留米を取出します。

- 詳しくは、ピックストーンの取扱説明書ページ5「7.」を参照してください。



2) 昇降機の残留米を取出します。

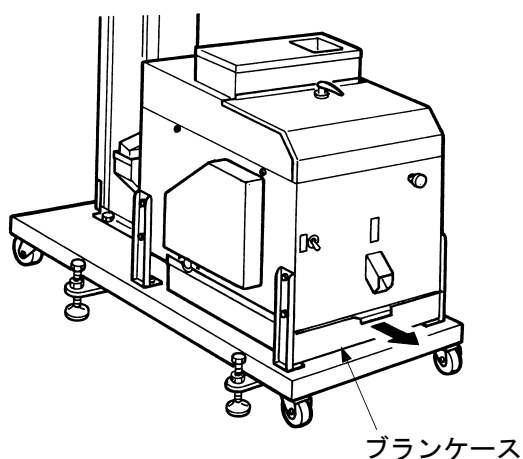
(a) 掃除口カバーを外します。

- M6 ユリヤ化粧ネジ 1 本を外します。

(b) 昇降機の底にある残留米を取出します。

(c) 掃除口カバーを元通りに取付けます。

- M6 ユリヤ化粧ネジ 1 本で固定します。



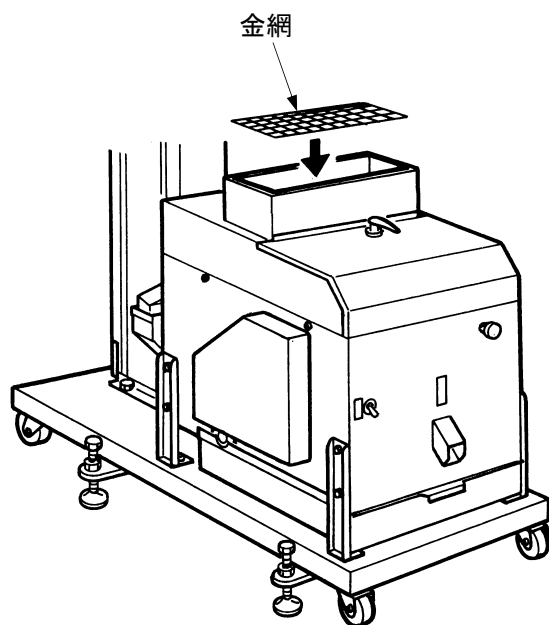
3) ピックストーンのブランケース内を掃除します。

- ブランケース内に溜まっている糠や異物を掃除します。

- 詳しくは、ピクトーン（Pictone）の取扱説明書ページ5「5.」を参照してください。

ネズミ侵入防止対策

ネズミが機械内に侵入すると、内部に巣を作り機械の詰まる原因となります。
ネズミの機械内侵入防止の方法を示します。

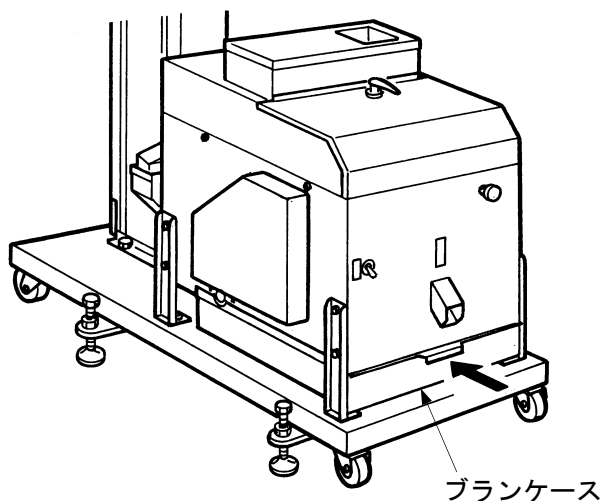


1) 機械内部の掃除をします。

(ページ19「各部の掃除」を参照してください。)

2) 投入口ホッパの中に金網を取付けます。

- ピックストーンに付属している金網を取付けてください。



3) ピックストーンのブランケースを奥まで確実に納めます。

保管

機械の保管方法を示します。

- 1) ページ20「ネズミ侵入防止対策」を参照して機械のネズミ侵入防止を行います。
- 2) 機械を保管場所へ移動します。
(ページ11「1. 機械の移動」を参照してください。)
 - 機械の保管場所は、雨などがかからず乾燥した平らな所にしてください。
 - 機械を保管するときは、電源プラグを抜いておいてください。

困ったときの対処のしかた

1. 異常・故障の場合の処置方法

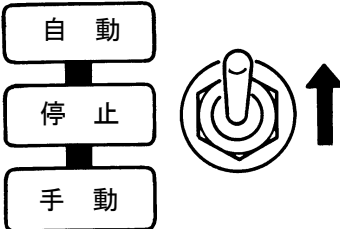
異常・故障の場合の処置方法を示します。



- 異常・故障の処置は、必ず「電源スイッチ」を「切」にして、電源プラグを抜いて行ってください
- 処置後は必ず、作業安全のため、安全カバーを元通りに取付けてください。
- この取扱説明書およびピックアップの取扱説明書の指示に従ったにもかかわらず異常・故障が改善されない場合は、お買い上げのJAまたは販売店に連絡してください。

(1) 「電源スイッチ」を「入」にしても機械が作動しない

原因	処置方法
1) 電源がきていない	(a) 屋内のブレーカが働いていないか点検します。 ● 原因が分からない場合は、お買い上げのJA・販売店または、電気工事店にご相談ください。
2) 電源スイッチボックスに電源プラグがきちんと差し込まれていない	(a) 昇降機電源プラグとピックアップ電源プラグを、電源スイッチボックスのコンセントに確実に差し込んでください。

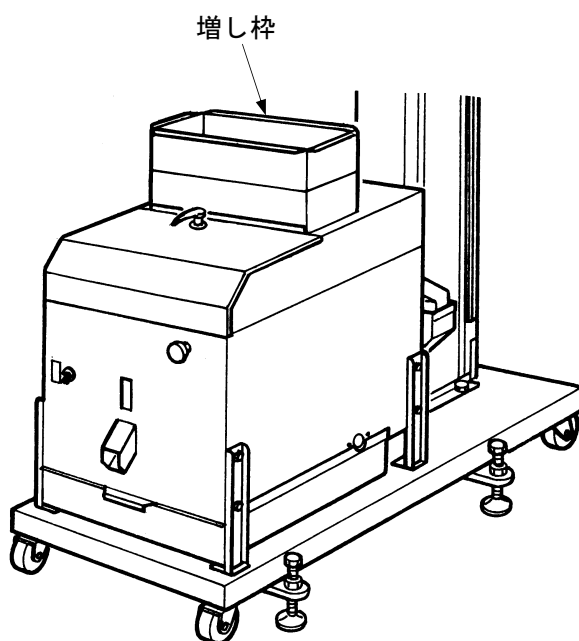
原 因	処 置 方 法
3) ピックストーンのスイッチ設定が間違っている	(a) ピックストーンの「スイッチ」を「自動」にします。 ● 「自動」では投入ホッパに玄米が投入されるまでは、ピックアップストーンは作動しません。 
4) 昇降機が詰まっている	(a) 昇降機に詰まっている玄米を取出します。 (ページ19「2」)を参照してください。) (b) 昇降機のバケットベルトの点検・調整をします。 (ページ14「1.バケットベルトの確認」を参照してください。)

オプション部品

オプション部品の目的について説明します。

■ 増し枠 注文コード : EGA30AAZ50 (EGA30A用)
: EGA20AAZ50 (EGA20A用)

- 粳摺機と連結して運転する場合などに、投入口ホッパ周辺への玄米の飛散を防止します。
- 増し枠の高さは 225mm です。
- ピックストーンの投入口ホッパに取付けます。



消耗部品

消耗部品のリストと耐久時間について示します。

消耗部品は、表 1 を目安に事前に準備されることをお奨めします。

表 1 消耗部品一覧表

品 名	注文コード	耐久時間
バケットベルト	150040134	100～150（時間）
ベアリング	—	100～150（時間）

※ 表 1 消耗部品一覧表の耐久時間は、地域、玄米の品種・水分、使用条件等により異なる場合があります。

仕様

表 2 仕様一覧表

項目		機種	小型昇降機付石拔機	
型 式			EGA30	EGA20
区 分			A	A
機体寸法	全 長(mm)		1325	1215
	全 幅(mm)		685	535
	全 高(mm)		1710	
機体質量〔重量〕(kg)			112	88
石拔機部	クランク軸回転数(rpm)		460(無負荷時)	438(無負荷時)
	ファン回転数(rpm)		1714(無負荷時)	1500(無負荷時)
昇降機部	バケット幅(インチ)		3	
	上部内調車回転数(rpm)		340(無負荷時)	
所要動力	定格電圧(V)		単相 100	
	使用動力(kW)		0.2(石拔機)+0.1(昇降機)	0.1(石拔機)+0.1(昇降機)
性 能	能力(kg/h)		最大 1800	最大 1200
処理可能な原料名			玄米	

機体寸法

単位：mm

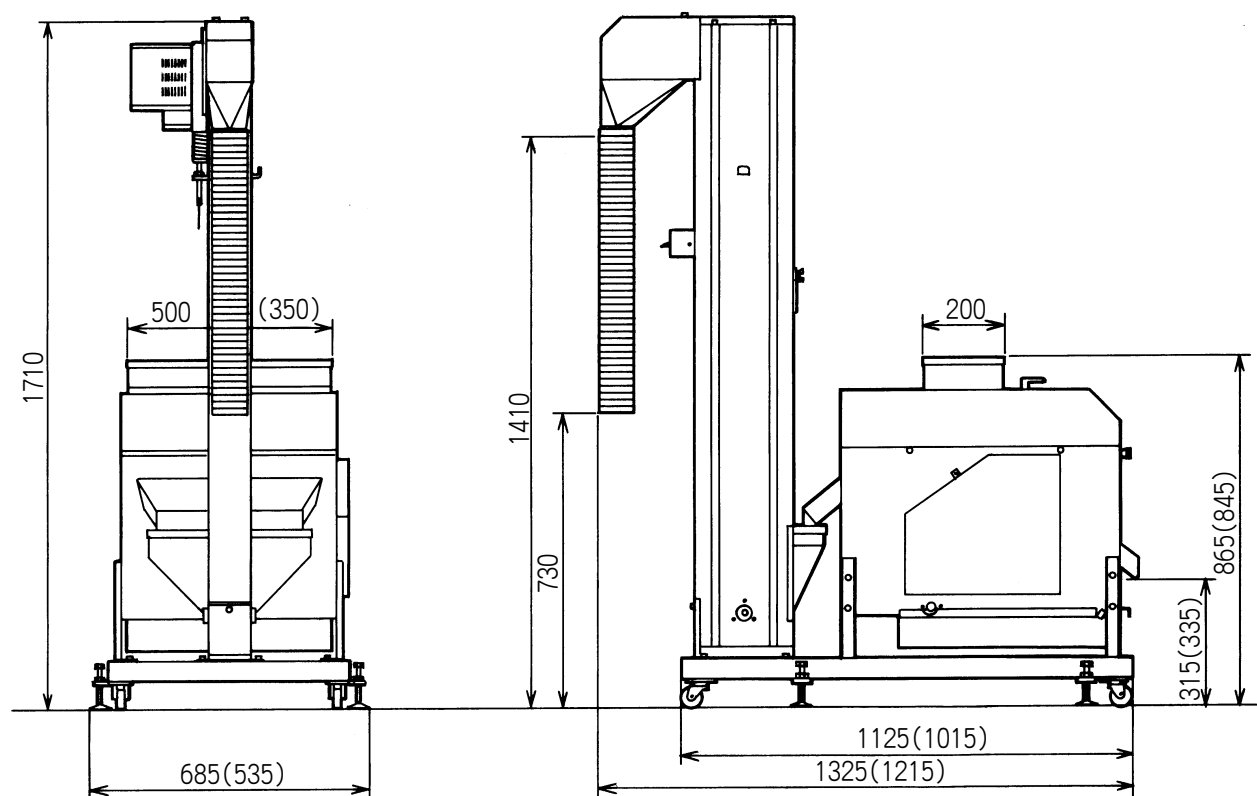


図 6 機体寸法 EGA30A 〔 ()内は EGA20A の寸法〕

保証とアフターサービス

取扱い・修理などのご相談はお買い上げのＪＡまたは販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「お買い上げ日、ＪＡ・販売店名」などの記入をお確かめの上、ＪＡまたは販売店からお受取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼される時には

- 「困ったときの対処のしかた」（22～23ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げのＪＡまたは販売店にご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成されています。

[illegible]

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、下記連絡先へご連絡ください。

〔１〕ＪＡ・販売店（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●ＪＡ・販売店に連絡が見つからない場合は、下記最寄の営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区菊水 3 条 2 丁目 52-254	011 (812) 3666	011 (820) 2007	003-0813
北上営業所／岩手県北上市川岸 1 丁目 16-1（東北佐竹製作所内）	0197 (64) 0111	0197 (61) 0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地 121-2	018 (839) 0891	018 (889) 6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目南町 2-20	022 (287) 2733	022 (390) 1017	984-0013
小山営業所／栃木県小山市駅南町 4 丁目 31	0285 (27) 5060	0285 (31) 1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室 1153	04 (7132) 1181	04 (7140) 8018	277-0813
新潟営業所／新潟市長潟 3 丁目 8-16	025 (287) 0177	025 (257) 1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見 3 丁目 10-6	0586 (73) 2177	0586 (26) 1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵衛町 793-1	076 (277) 2085	076 (277) 8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市庄内西町 5 丁目 1-76	06 (6331) 0558	06 (6335) 2066	561-0832
広島営業所／広島県東広島市西条西本町 2-30	082 (420) 8575	082 (420) 0010	739-8602
松山営業所／愛媛県伊予市市場 485-1	089 (982) 6990	089 (997) 3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分 1 丁目 7-1	092 (921) 6111	092 (920) 1030	818-0132
熊本営業所／熊本市西原 3 丁目 3-29	096 (382) 2727	096 (386) 2007	861-8029

〔３〕製造元 株式会社

広島本社／広島県東広島市西条西本町 2-30 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡が見つからない場合は、下記連絡先へご連絡ください。

■お客様相談窓口	〔カスタマサポート本部〕	TEL：082 (420) 8543	FAX：082 (420) 0009
■本社営業窓口	〔調製機事業部〕	TEL：082 (420) 8541	FAX：082 (420) 0005
■大代表		TEL：082 (420) 0001	